

公益社団法人 土木学会技術推進機構
アセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会 成果報告会
【開催報告】

公益社団法人土木学会技術推進機構アセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会では、持続可能なアセットマネジメントシステムの体制構築を推進するためのモデル事業を平成 27 年度から推進しています。本事業は、地方公共団体が管理するインフラ施設の維持管理・更新等の長期的なマネジメントシステムを確立するため、施設管理者である地方公共団体がその体制及び能力を考慮しつつ、地域の実情等に応じて適切な体制を構築できるよう、当該地方公共団体が抱える課題を明確にし、課題解決方策を検討するとともに、その実践を推進するために専門的知見の提供等の支援を行うものです。このたび、平成 31 年 3 月 8 日(金)に、本委員会の 4 年間にわたる活動成果を広く公表するための成果報告会を、東京大学本郷キャンパス情報学環・福武ホールにて開催しました。当日のプログラムは次のとおりです。

13:00 開会の辞(小澤一雅委員長)

13:15 アセットマネジメント実装に関する研究紹介(各 15 分)

- (a) 東京都特別区の橋梁維持管理マネジメントの課題とその克服に向けた取り組み(千々和伸浩委員)
- (b) 柏市水道部アセットマネジメントの実装支援と中長期経営分析(堀田昌英委員)
- (c) 市町村レベルにおける橋梁維持管理の実態に関するマクロ分析(岡本直久委員)
- (d) 自治体における道路維持管理業務の支援の試み(堤盛人委員)

14:30 各モデル事業の事例紹介(1)

- (a) 新潟市(新潟市・澤田健五氏, (株)アイ・エス・エス・丸山明氏)
- (b) 町田市(町田市・砂坂卓哉氏, リテックエンジニアリング(株)・海老名康代氏)

15:30 休憩

15:45 各モデル事業の事例紹介(2)

- (c) 桑名市(桑名市・加藤和広氏, 大日本コンサルタント(株)・稲塚裕右氏)
- (d) 富士市(富士市・牛苧敦司氏, 八千代エンジニアリング(株)・山本浩貴氏)

16:45 全体討議(コーディネータ: 高木千太郎委員)

17:30 閉会の辞(堀田昌英委員)



年度末の 3 月開催であったにもかかわらず、当日の参加者は 100 人を超え、インフラアセットマネジメントに対する関心の高さが伺えた。全体討議においては、アセットマネジメント実装に関する研究紹介やモデル事業の実施内容について多くの質問が寄せられ、高木委員のコーディネートのもと、地方自治体におけるアセットマネジメント実装のために今後必要な取り組みや検討の方向性について熱心な議論が繰り広げられた。会場で配布されたアンケートに記入された質問事項に対しては、回答可能なものだけではあるが、本委員会のホームページ内で回答を公表しているため、参考にしていただきたい。

なお本事業は、内閣府が実施する戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術(PD: 藤野陽三)」の研究テーマのひとつである「道路インフラマネジメントサイクルの展開と国内外への実装を目指した統括的研究(代表: 石田哲也)」の中で実施しています。